

江坂大池留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和6年度）

1 育成室の概要

（1）児童数・教室数（令和7年3月1日時点）

児童数95人（うち配慮をする児童5人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	3教室
	26人	32人	25人	12人	0人	

（2）受託事業者

特定非営利活動法人スローライフ（契約期間：令和6年4月～令和9年3月）

他に受託している育成室（吹二育成室、吹六育成室、西山田育成室）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点（0～3）
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつの提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	3
8	配慮をする児童（障がいを有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に貢献している。
- ②保護者アンケートの「保護者にとってどの程度満足できるものでしたか。」の設問で、年度末に実施した結果では、「満足」「少し満足」の回答合計が93%と非常に高い割合となっており、1学期・夏休み終わりに実施した結果から約11ポイント増加している。
- ③夏季休業期間中の1日保育時には、週2回程度の弁当発注による昼食提供を行うことで、保護者の負担軽減に貢献している。
- ④個人的な事情があるとはいえ、年度途中での担任指導員の異動や退職が続いた。児童や保護者との信頼関係の構築には継続的な雇用が望ましいため、事業者としても定着率のより一層の向上などの改善が求められる。